

# かいたく

教会のない地域に教会を 刈り入れ場に働き人を



ある人が、マタイの福音書にある『イエスは都に帰る途中、空腹を覚られた。』という箇所を読んで、「イエス様もお腹が空かれるんですね。」と言ったそうです。この人の目には、これまでイエス・キリストがどのように映っていたのでしょうか。イエス・キリストは神です。しかし、私たちと変わらない身体を持って人としてこの世界に来てくださった救い主です。そのイエス・キリストは、私たちと同じように空腹を覚えることがあり、痛みを覚えることがありました。

さて、牧師や伝道師たちも人間です。あなたと同じように、空腹を感じることもあれば、痛みを感じ、心に傷を負うことだってあります。牧師だから信仰が強く、貧しさに耐えられ、人々からの悩みの相談や批判をも負担なく受け止めることができるわけではありません。

私たちは、罪以外はすべての点で私たちと同じようになられ、そして試みに会われたイエス・キリストにならい、自分以外の人对しても思いやりと同情を持った人になっていきましょう。

(JBBF国内宣教委員長・榎本昌博)

最後に申します。あなたがたはみな、心を一つにし、同情し合い、兄弟愛を示し、あわれみ深く、謙遜でありなさい。  
(ペテロの手紙第一3・8)

かいたく 2016年11月発行 第71号 発行元:JBBF国内宣教委員会 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉4696-27 編集責任:榎本昌博 デザイン:近田健次

## サポートお振込み先のご案内

開拓伝道所等の応援の一環として、サポートのお振込み先口座をご案内します。今回は、以下の4つの開拓伝道所を掲載させていただくことになりました。また、今、特に支援を必要としている足利教会の口座もご案内させていただきます。お祈りに覚えていただき、国内における福音宣教の働きへの支援と協力が、さらに広がっていきますならば幸いです。

■アガペー聖書バプテスト教会  
郵便振替口座  
番号:00570-8-47694  
名義:アガペー聖書バプテスト教会



■上越聖書バプテスト教会  
郵便振替口座  
番号:00580-1-93924  
名義:上越聖書バプテスト教会

■上田聖書バプテスト教会  
郵便振替口座  
番号:00540-6-100350  
名義:伝道所 上田聖書バプテスト教会

■足利聖書バプテスト教会  
ゆうちょ銀行  
番号:10730-35662971  
名義:中川 克己

■カルバリの丘バプテスト教会  
ゆうちょ銀行  
店番:238 番号:5847978  
名義:藤沢幸人



## 2017年 国内宣教カンファレンスのご案内

- ◎開催日:2017年1月4日(水)・5日(木)
- ◎説教テーマ:「伝道者の召しを全うするために」(IIテモテ4:7-8)  
講義テーマ:「伝道者を形造る神学の重要性」  
※3回の集会のうち2回は説教、1回は講義形式です。
- ◎説教者:三澤隆男先生(船橋聖書バプテスト教会 柏担当牧師)
- ◎婦人集会講師:三澤和子先生(船橋聖書バプテスト教会)、  
白井恵子先生(希望の丘聖書バプテスト教会)
- 子ども集会:レクリエーション(プラネタリウム、アイススケート等)も  
ございます。
- ◎場所:朝霧少年野外活動センター(静岡県富士宮市)
- ◎参加費:2,000円(食事代のみ。交通費は例年どおり補助いたします)

- 1 婦人たちの集会を企画しています。牧師夫人、宣教師(婦人)、婦人伝道師の方もぜひ参加をご予定ください。
- 2 開拓伝道の先生だけではなく、ぜひ独立教会の先生方ご家族もご参加ください。
- 3 委員会では、委員会への支援献金、カンファレンス支援献金、基金指定献金を募っています。よろしく願いいたします。

【献金先:郵便振替】  
JBBF国内宣教委員会 00140-2-654375



1月4日(水)	1月5日(木)
8:00	朝食
9:00	婦人集会② 男性子守
10:00	分科会
11:00	昼食
12:00	受付
13:00	全体集会① 子供集会
14:00	全体集会③ 子供集会
15:00	オリエンテーション 婦人集会① 男性子守
16:00	解散
17:00	夕食
18:00	このスケジュールは予定ですので、変更があります。
19:00	全体集会④ 子供集会
20:00	
21:00	

上記のスケジュールは昨年のもので、若干の変更はありますが、ご参考にしてください。

## 八王子聖書バプテスト教会 独立と按手礼式の証

八王子聖書バプテスト教会 副牧師:西原 智彦



私達の主の御名をほめたたえます。八王子聖書バプテスト教会の独立と、私の按手礼式の証しをさせていただく恵みを感謝いたします。

人口56万人の八王子市は、東京都において23区を除けば最大の自治体です。「隣の町に伝道を」という調布バプテスト・templの伝道の結実として、八王子教会はスタートしました。初めの数年は集会所をお借りして、聖書の集いとして伝道の方向性を探りました。そして2012年9月に現在の小宮町に居を構え、教会名を正式に決めて日曜礼拝を始めました。当初は母教会の全面的な支援で運営されていましたが、新たに教会に加わった姉妹による運営へと徐々に移行しました。そして今年の3月20日、母教会の総会の決議を経て独立しました。小さな群れですが、経験豊かなラージャス宣教師が牧師であり、信徒は礼拝とささげものに忠実で、私は平日大工の働きが与えられ、霊的、経済的に守られていることを感謝します。

独立後、八王子教会は私への按手礼を執り行いました。山宮師が予備諮問、本諮問の代表者となってくださいました。神学校を卒業して15年が経ち、知識と記憶への不安がありました。また、伝道者としての働きの困難と挫折の歩みから沸き起こる恐れがありました。しかし準備の中で、私を伝道者に召してくださいました真実な神に再び向き合うことができました。急な日程でしたが、9月26日の按手礼式当日は諸教会から20名程の先生方がご出席くださり、召命、知識、信仰、人格、あらゆる面から必要不可欠な質問をくださいました。キング師の説教は、私達夫婦を真に愛して下さる宣教師からの時宜を得た御言葉でした。石川実師の説教は八王子教会の将来を共に夢見てくださる希望に満ちた御言葉でした。

按手礼をもって私は八王子教会の副牧師に就任いたしました。今後もラージャス牧師を支え、共に八王子教会に仕え、信徒と共に神に喜ばれる教会形成に邁進したいと思っております。これからも主にあるお交わりをよろしく願っています。

### 足利聖書バプテスト教会の現状 中川 克己

現在、足利教会には、伝道師夫妻以外に5名の教会員と1名のバプテストマ準備中の兄弟がおります。ただ、毎週集えるのは、そのうちの2~3名という状態です。それでも、最善を尽くして礼拝を守ろうとしておられます。また、以前教会を離れた方々との関わりも豊かに与えられており、求道者も入れ代わり立ち代わり来訪されています。

ただ、やはり経済的には苦しい状態にあります。伝道師夫妻もアルバイトを始めましたが、収入が安定するには、少し時間がかかりそうです。また、建物も老朽化、雨漏り等で修繕を必要としており、廃棄すべき物も山積しており、それらの片付けの時間と、処分費用も掛かる状態です。日曜学校の備品も殆どありません。風呂の給湯器も交換を必要としております。ただ感謝なことに住居部分母屋は、築70年ではありますが、1階建てであり、土台が傷んでいないことがわかり、修繕すればまだまだ使えるようです。会堂には小部屋がないので事務室や交わりの部屋としても利用できると考えております。トイレも会堂以外は使えませんが、何とか修理ができました。すでに献金くださった教会も多くあり、本当に主にあって感謝致します。足利には今まで蒔かれた種が数多くあります。独立教会として恐縮ですが、是非お祈りに覚えて頂ければ感謝です。

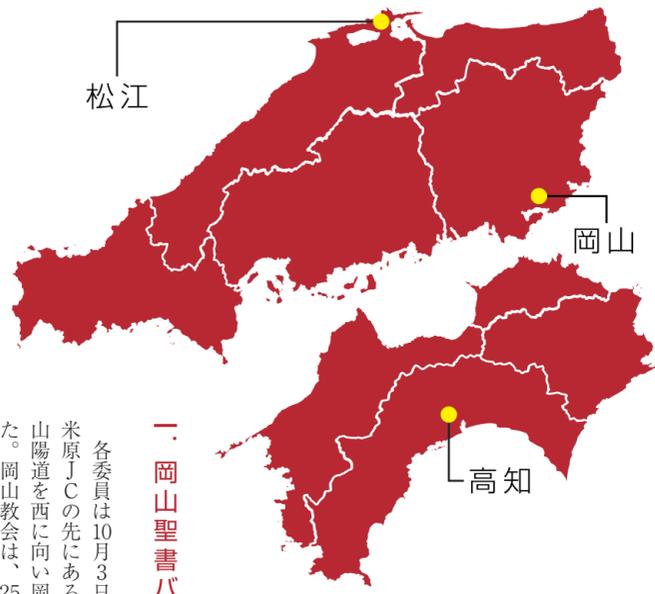


### 澤愛作先生を偲んで

2016年8月28日、めぐみバプテスト・templの澤愛作先生が、42年間の地上の生涯を全うし、主のみもとに召されました。澤先生は召されるその時まで、ブラジル人の姉妹と教会形成に励みながら、積極的に地域(大泉町)に仕え、フェロシップでも様々な働きを担ってくださっていました。広く国内外の諸教会でも御言葉の御用を担われ、足利教会の必要のためにも尽力されました。そのような澤先生を思う時、ヨハネの福音書13章1節の御言葉を思い出します。そして、その名前の通りにイエス様の愛に生きる生涯を全うされたと思います。澤先生とご一緒に過ごす日々を主が与えてくださったことを感謝致します。天国での再会を待ち望みつつ。



# 岡山、松江、高知教会訪問記



初めに

5名の国内宣教委員は、開拓伝道所への励ましと交わりの為に10月3日〜5日の日程で、岡山、松江、高知教会をそれぞれ訪問させて頂きましたので、その報告をさせて頂きます。尚、この度の教会訪問には、元委員長の上田晃先生も同行してくださり、幸いな交わりを頂きました。大型の台風18号が北上中で、訪問日程を直撃する最悪の状況を覚悟しましたが、全行程において主の守りがあり、台風のコースは日本海の北側に逸れ、天候による大きな影響を受けることもなく予定通り各教会を訪問することができました。

希望される方は、先生に直接お問合せください。



して下元先生によって開拓伝道が始まり2年前に現会堂を購入し移転して来られました。下元先生との交わりで、先生はこれまでの伝道の働きにおいて、自らの足りなさを悔い改める必要や福音の理解が不十分であったことを率直にお話になり、教会を形造るために核となる人材が育つことの必要性を覚えておられます。そこで、教会の真の一致を図るためにはこの世の魅力ではなく、福音の持つ魅力とキリストへの愛によって、牧師との信頼の関係を築いて行くことが大切ではないかと話しておられました。下元先生はこれまでの歩みにおける失敗や不十分であった部分を謙虚に受け留め、それでも福音の為に奮闘しながら主の召しに一所懸命に答えて歩もうとしておられます。また、訪問が夕食の時間と重なってし



## 一、岡山聖書バプテスト教会

各委員は10月3日の主の日の翌日に、米原J.Cの先にある多賀SAで合流し、山陽道を西に向い岡山教会を目指しました。岡山教会は、25年前に瀬戸内ラインへの宣教のビジョンのもとで、名古屋教会の伝道所として、上田晃先生と岩尾章先生により開拓伝道が始まりました。教会の歴史は、岩尾先生の10年の働きの後に澤清嗣先生に引き継がれ、初めの建物から2度の移転を経て、今の会堂に移り6年目を迎えるようになっています。現会堂は、岡山市の郊外にある西大寺の駅前にあり、JRを利用する多くの学生や通勤の人々が教会の前を行き交っています。明るく清潔感のある教会内は、先生ご夫妻のセンスが光り、素敵に飾られ、温かく迎える雰囲気がありました。

この地域は、かつて孤児院の設立に奮闘した石井十次やハンセン病患者への伝道の拠点となった長嶋愛生園の存在な

## 二、松江聖書バプテスト教会

私達は、翌日、岡山から山陽道を経て北に向い、米子を経由して4時間ほどで松江に到着しました。教会訪問の前に、宗道湖のほとりにある松江城と城下町を車から眺めながら教会に向いました。教会は、松江駅から車で15分程の市街地の外れに位置し、教会の前は道は、4メートル幅の狭い通りですが抜け道になっており、車が頻繁に往き来していました。私達は、柳谷先生ご夫妻と昼食を頂きながら交わりの時間を持ちました。

松江は、人口20万人の城下町の影響もあって、誇り高く、新しいものを受け入れない閉鎖的な気質のゆえに伝道の難しさがあります。また、明治期にバックストンの宣教の拠点となった場所ですが現在その影響はほとんど残っていません。柳谷先生ご家族は、今の会堂に3年前に移転して来られ、松江での伝道開始から数えると10年になります。先生は、松江の駅前でギターを持って賛美をしながら路傍伝道なども行っており、この地で忍耐強く福音を伝えておられます。尚、今年の6月に京都教会の伝道所として新しくスタートすることになり、7月には



まいりましたので、奥様は、私達の為に美味しいピザやその他の料理を用意してまでなしてくださり、先生ご夫妻とお子さんたちも含めて、暫く楽しい愛餐と交わりの時を持ちました。委員の私達は、このような教会訪問の計画がなければ、地方で伝道しておられる先生方と間近に交わることが出来ないもので、とても貴重な恵みの機会でした。下元先生の4人の子さんのうち、長男は、既に県外の大学に進学しており、3名は高校生と中学生ですので、これから多くの教育費がかかります。下元先生の伝道の働きとご家族の為に続けてお祈りください。



ど、社会福祉の為に大きな功績を残したキリスト者の良き証しによって、地元の人々は、キリスト教に対してとても寛容で、教会の行事などにも気軽に参加してくださるようです。

澤先生は、将来に向けて、瀬戸内ラインへの宣教を拡大する為に、新たな開拓伝道の働き人となる献身者を祈っています。



伝道所発足式と伝道師就任式が執り行われ、また、高校3年生の息子さんと教会の姉妹がバプテスマを受ける恵みに預かりました。10月には、母教会の牧師である近松先生をお迎えして伝道10周年の記念集会を恵みのうちに行うことができました。

松江は、岡山や京都から遠く離れた地方都市ですので、他教会との交わりを持つには、時間的、経済的な制約があり、関東や関西圏の教会の交わりと違い孤立してしまうことを懸念します。そのため他の教会の祈りと交わりの支援が必要です。福音の灯が山陰の地で輝き続ける為に、先生方の働きの意義は大きいはずですが、フェローシップの祈りを地方都市で苦闘しておられる先生方の働きに注いでください。また、私達も、地方で開拓中の先生方がフェローシップの交わりに積極的に参加できる環境を整えて行きたいと願っています。



## 高知の家庭集会と徳島教会の訪問

公式の教会訪問は、前述の3カ所ですが、教会訪問のルート上にあるため、上田晃先生が責任を持っておられる高知の家庭集会と単立バプテストの徳島聖書バプテスト教会を訪問させて頂きました。

私達は翌日、高知市のホテルを出発して東に向い、香南市にある大谷さんのお宅を訪ねました。上田晃先生は、35年間名古屋教会の遠隔地集会として高知において定期的な集まりを持って来られました。訪問の折には、大谷さんの奥様が迎えてくださり、暫くある交わりの時を持つことができました。また、高知での伝道の働きとして、もう一カ所、室戸岬に近い場所で家庭集会が持たれています。この後、私達は、徳島教会を訪ねまし



す。また、現在、礼拝は多く集まる時で20名程ですが、30名の集まりを目標に掲げており、その為に求道者の救いや信仰を持つて間もない方々の成長を願っており、新会堂のビジョンも描いておられます。また、教会の方々と信頼を深める為「建設的意見交換会」と名付けた交わりを定期的に持つことで、教会の人達の率直な声を汲み取りたいと願っています。私達は、この訪問を通して、澤先生ご夫妻が、一歩々堅実な歩みと教会成長をなさっておられる印象を受けました。尚、先生は、教員といつても聞かれるようにと外でアルバイトをせず、自宅でレザークラフトの製品を作り、ネットオークションで販売して収益を得ています。工房に並ぶ製品は、玄人肌ですので購入を



## 三、高知聖書バプテスト教会

私達は、柳谷先生ご夫妻と別れ、もともと来た道を岡山まで引き返し、更にそこから瀬戸大橋を渡って四国を縦断し、高知に夕方6時半頃到着しました。高知教会は、1992年に京都教会の伝道所として

た。教会では、万好先生ご夫妻と教会の姉妹方が私達を迎えてくださり、食事の交わりの後で新会堂を案内してくださいました。徳島は、幸福の科学を始めとする新興宗教など異教の宗教の強い地域で教会は、これまで数々の迫害を経験して来ました。しかし、主は、この地に神の栄光を現わす素晴らしい会堂を与えてくださり、主の御名を崇めました。

